

ふえらむ

*Bulletin of
The Iron
and Steel
Institute of
Japan*

Vol.15 / No.9 / 2010

(社)日本鉄鋼協会会報

ISSN1341-688X

鉄と鋼

Tetsu-to-Hagané

Vol.96 / No.9 / 2010

ISSN0021-1575

測定結果の正確さ、簡単操作で 豊富なラインナップ。金属分析に差をつけます。

材料中酸素・窒素・水素分析装置 EMGAシリーズ

NEW

酸素・窒素・水素の3成分を自動化機構により簡単、高速、高精度測定。

酸素・窒素・水素分析装置
EMGA-930

酸素・窒素分析装置
EMGA-920

水素分析装置
EMGA-921

- O/N/H同時分析
- 世界最高の分析性能（精度）
- 高速分析メンテナンス性向上
- オートクリーナ/るつぼローダ標準装備



炭素・硫黄分析装置 EMIA-920V2

NEW

高周波加熱炉方式で、極微量炭素硫黄成分を高精度測定。

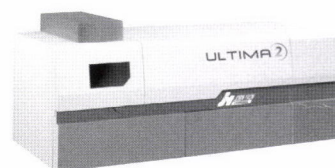
- 高周波誘導加熱炉方式の採用で燃焼コントロールを実現
- 分析目的に応じた適切なプレート電流コントロールにより、各種サンプルの高精度分析が可能
- 測定中に加熱条件を変える事で、炭素の分別定量にアプローチ可能
- 高周波炉オートクリーナ機構の採用で、省力化を実現



ICP発光分析装置 ULTIMA2

高感度・高分解能を実現したシーケンシャルICPの最高峰。

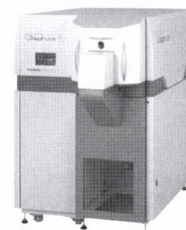
- 大型回折格子を搭載した、高感度・高分解能分光器
- 120nm～の測定でCl、Brも測定可能独自のソースガス機構により、高塩試料の長期安定分析が可能
- 40MHzプラズマの採用で低バックグラウンドと低ランニングコストを実現
- イメージナビゲータ（定性ソフト）により全波長領域を最短2分で分析



マーカス型高周波グロー放電発光表面分析装置（GD-OES）

表面分析に新たなラインアップ深さ方向分析が簡単・迅速に。

- 迅速分析が可能なので、1日10検体以上の分析が可能
- パルススパッタリングを用いれば、サブnmオーダーの深さ方向分析も可能
- 水素やリチウムなどの軽元素の分析も可能
- 測定元素：H～U



株式会社堀場製作所 本社 〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2 TEL(075)313-8121

●東京(03)3861-8231 ●横浜(045)451-2091 ●名古屋(052)936-5781 ●大阪(06)6390-8011

●仙台(022)308-7890 ●つくば(0298)56-0521
●広島(082)288-4433 ●福岡(092)472-0541

科学システム営業部 TEL: 03-3861-8234 <http://www.horiba.com/jp/scientific/>

ふえらむ

Vol.15 (2010) No.9

C O N T E N T S

目 次

Techno Scope	高炉の長寿命化に貢献する耐火物技術	540
鉄の点景	トーマス転炉	545
連携記事	高炉の耐火物及びシャフトの長寿命化技術 芳我徹三、松井泰次郎	547
入門講座	鉄鋼精錬プロセス工学概論5 北村信也	554
アラカルト	日本の大量生産鋼中の不純物元素精錬限界濃度の時代変遷 (2010年版) 雀部 実	562
	若手研究者・技術者へのメッセージ7 若きエンジニアへ、体験から学んだメッセージ 浅川基男	568
研究室だより		573
協会の活動から		575
会員へのお知らせ		578
海外鉄鋼関連最新論文		594

編集後記

高僧 快川紹喜は「安禅必ずしも山水を用いず、心頭滅却すれば火も亦た涼しい」と申されましたが、俗人には達しがたい境地ゆえ、温暖化とヒートアイランド化現象によるの真夏日続きに耐えております。しかし、学生時代の高炉実習で出湯時の溶銑の輻射熱あるいは耐熱服を着ての真夏の溶解・鑄造試験時の暑さや、製銑・製鋼分野の現場の方に比べれば、まだまだといった感じではあります。

話は変わり「英語は企業人の必須科目に」と言った社説が日経新聞に掲載(2010年7月8日)掲載され、グローバル化が叫ばれ外国人との接触も急激に増加していることは、街

中の案内版・ホテルの案内版に英語・韓国語・中国語(大陸及び香港・台湾対応)が当たり前になっていることから感じられます。

また、新聞では今年度GDPは中国に抜かれGDP世界2位と言う心地よい位置は日本から中国に変わり、日本の存在感が希薄になっていくと報じられています。この様な記事を見るにつけ、唐詩選の冒頭を飾る魏徴の「述懐」の結び「人生感意気 功名誰復論」にある気概を持ち続けたいと思う日々です。

(H. N.)

会報委員会(五十音順)

委員長 小野寺秀博(物質・材料研究機構)

副委員長 細谷 佳弘(JFEスチール(株))

委員 伊藤 直史(群馬大学)

鹿野 裕((社)日本鉄鋼協会)

杉本 卓也(愛知製鋼(株))

田嶋 淳平(住友金属工業(株))

浜 孝之(京都大学)

前田 恭志((株)神戸製鋼所)

韋 富高(日本冶金工業(株))

芝田 智樹(大同特殊鋼(株))

埜本 敏江(日新製鋼(株))

谷口 庸一(三菱自動車工業(株))

林 幸(東京工業大学)

三木 貴博(東北大学)

木村 勇次(物質・材料研究機構)

杉浦 夏子(新日本製鐵(株))

滝田 光晴(名古屋大学)

中嶋 宏(三菱重工業(株))

林 重成(北海道大学)

ふえらむ／鉄と鋼 合本誌 定価 4,000円(消費税等込・送料本会負担)

Bulletin of The Iron and Steel Institute of Japan／Tetsu - to - Hagané : Unit Price ¥4,000 (Free of seamail charge)

1996年5月10日第三種郵便物認可 2010年8月25日印刷納本、2010年9月1日発行(毎月1回1日発行)

編集兼発行人 東京都千代田区神田司町2-2 新倉ビル2階 (社)日本鉄鋼協会 専務理事 小島 彰

Tel: 学会・生産技術部門事務局: 03-5209-7012(代) Fax: 03-3257-1110(共通)

(会員の購読料は会費に含む)

印刷所 東京都文京区本駒込3-9-3 (株)トライ

©COPYRIGHT 2010 社団法人日本鉄鋼協会

複写をご希望の方へ

本会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

TEL.03-3475-5618 FAX.03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致していません。

直接、本会へお問い合わせください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

・ Copyright Clearance Center, Inc.

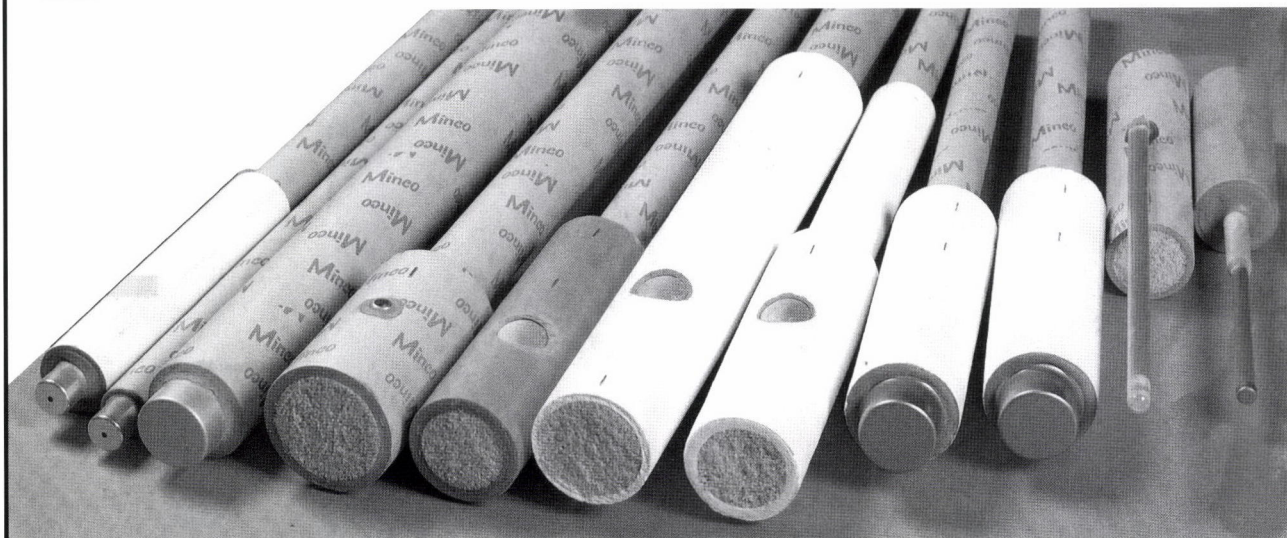
222 Rosewood Drive, Danvers, MA01923 USA

TEL.1-978-750-8400 FAX.1-978-646-8600

Minco ミンコ・熱電対とサンプラー

品質向上のパイオニア

■ ミンコサンプラー (製鋼 製鉄 試料採取用)

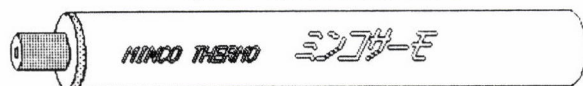


ミンコサンプラーの3つの大きな特徴 信頼性、作業性、安全性。
炉外精錬装置 脱ガス装置 電気炉 レードル タンディッシュ CCモールド
高炉出鉄樋 トピードカー 溶銑予備処理などあらゆる場所から採取できます

■ ミンコサーモ 消耗型熱電対

for IRONS, STEELS, FERROUS ALLOY

MMJ型 消耗型熱電対



TYPE R(13%) IPTS 1968
白金・白金ロジウム

■ 標準試料

世界各国各社の製品を取り扱っております。
化学分析用、発光分光分析用、蛍光X線分析用、英国BAS、米国NBS、
BRAMMER、ALPHA、MINCO、カナダALCAN、ドイツBAM、
フランスIRSID、スウェーデンSKF、他 ご用命下さい。

日本ミンコ株式会社

ISO9001:2000 認証取得

※お問い合わせは

本 社 〒341-0032

埼玉県三郷市谷中398番地1

TEL.048(952)8701 FAX.048(952)8705

URL <http://www.minco.co.jp>

東京事務所 〒166-0012

東京都杉並区和田3-36-7

TEL.03(5306)6265 FAX.03(5306)6268

MINCO U.S.A (WISCONSIN)

MINCO GERMANY (DÜSSELDORF)

MINCO AUSTRALIA (WOLLONGONG)

ELTRA
Analysers made in Germany

業界注目!!
この機能で低廉価格(500万～)発売中!!

炭素／硫黄分析装置 CS-800

システム概要



CS-800はJIS燃焼—赤外線吸収法に準拠した炭素/硫黄分析装置です。鋼、鋳鉄、銅、鉬石、セメント、セラミックスその他の材料中の炭素及び硫黄を高速同時定量します。CS-800は最大で4機の独立した赤外線セルを備えることができ、それぞれが分析用例に応じて最適な赤外線吸収長に設定されます。16ビットマイクロプロセッサにより誘導燃焼炉のパワー制御や赤外線セル検出器のゼロ及び感度調整を行います。

特 徴

- ソリッドステート赤外線セル 4 機搭載
- 燃焼炉の自動クリーニング機構
- 誘導炉出力制御
- 単独及び外部PC制御による運転
- 助燃剤なしでの最大20gまでのCu試料分析

DSI

Dynamic Systems Inc.



グリーブル試験機シリーズ

熱・機械プロセスの物理シミュレーションのための業界基準となります。

高速加熱と広範囲の機械能力により、溶接HAZ シミュレーション、ゼロ強度、熱サイクル、熱処理研究、低力試験、高温引張り試験、さらには高速圧縮・引張り試験、多衝撃高温変形試験、熔融および凝固、そしてストリップ焼なましなどの試験に理想的です。

性能パラメータ	Gleeble 3800	Gleeble 3500	Gleeble 3180 (New)
最高加熱速度	10,000°C/sec	10,000°C/sec	8,000°C/sec
最高焼入れ速度	10,000°C/sec	10,000°C/sec	8,000°C/sec
最大ストローク	100 mm	100 mm	100 mm
最高ストローク速度	2000 mm/sec	1000 mm/sec	1000 mm/sec
最大力	20 tons	10 tons	8 tons
最大サンプル寸法	20 mm diameter	20 mm diameter	20 mm diameter

※加熱方式：直接抵抗加熱システムを採用しています。



日本総代理店
ジャパン マシーナリー 株式会社
JAPAN MACHINERY COMPANY

システム営業部 〒143-0015 東京都大田区大森西 5-27-4
TEL.03-3730-6061(代表) FAX.03-3730-3737
大 阪 支 店 〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地 1-3-16(京富ビル)
TEL.06-6342-1551 FAX.06-6342-1555